

TOYOTA GAZOO Racing

FESTIVAL

2016/11/27 (sun) FUJI SPEEDWAY

キッズ記者体験

記者：井口 愛理沙（小学5年生）

今回会った選手は、中嶋一貴選手と立川祐路選手です。

まずは、中嶋選手に話を聞きました。

私が話を聞いて驚いた事は、走っている時にスピードメーターをあまり見ないという事です。スピードを気にしてちゃんと確認するのかなと思いました。勝てないと、とても悔しく運で負けることもあるそうで大変だなあと思いました。

他にもこんな質問が・・・。

Q 1. レーサーになったきっかけは？

A. お父さんがやっていたから。レースが身近にある環境であり好きだった。練習はゴーカートから始めた。

Q 2. レース以外に得意なことは？

A. スポーツなど体を動かす事が好き。トレーニングは苦ではない。
頭を使うことは・・・(笑)

Q 3. レースをやっていて楽しい事は？

A. もちろん勝つこと!! 一年のシーズン年間総合優勝。日本のトップのレースでのチャンピオンが一番うれしい。



次に、立川選手に話を聞こうとピットへ移動しました。

ですが・・・立川選手が来るのが遅れた為、待っている間にマシンに乗せてもらえました!!

乗ってみると寝ているような姿勢で、この状態で運転出来るなんてすごいと思いました。ちなみに、キッズ記者体験でマシンに乗せてもらったのは今回が初めてだそうです。立川選手、遅れてくれてありがとうございました! (喜)



さて、私が立川選手の話で印象に残っているのは、親がレーサーではなく全く他の職業だったということです。

もしかしたら、私もレーサーになれるかも!? と思いました。きっかけは、小学生の頃テレビで見てカッコイイと思ったそうです。楽しいレースはやっぱり、優勝のレースだそうです。

実際に記者体験をやってみると、書くのがなかなか追いつかず思ったよりも大変でした。貴重な体験ありがとうございました!!

